

## ● 高等教育研究開発推進機構のHPを活用しよう!! (P2)

● ちょっぴり紹介 窓口Q&A (P3)

● コラム1 (P4-5)

## 知恵の引き出しのB群科目

● コラム2 (P6-7)

## 京大での学び

● 授業紹介 (ポケット・ゼミ) (P8-9)

## ポケゼミ 「ディベート入門」 について



● 吉田南構内マップ (P10-13)

充実した**学び**と**憩い**の場

● あなたは大学でできる

## 環境問題に

ついて考えたことがありますか。

(P14-15)

● 学生川柳 (P16)



# 窓口 Q&A

## 高等教育研究開発推進機構のHPを 活用しよう!!

京都大学高等教育研究開発推進機構(以下「機構」)のHPをご紹介します。機構は、全学共通教育を全学的な立場から企画・運営する責任組織です。そんな機構のHP(<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>)には、全学共通教育に関する様々な情報が掲載されていますので、ぜひ皆さんの学生生活に役立ててください。(機構のHPへは、京都大学HPのトップページ→全学機構 から入ることができます。)

**Q1** 全学共通科目学生窓口の受付時間は?

**A** 授業期間および試験期間は午前8時30分から午後6時45分までです。その他の期間は午前8時30分から午後5時15分までです。

**Q2** 落とし物をしたのですが・・・?

**A** 吉田南構内で落とし物をした場合は、下記にお尋ねください。

- 人間・環境学研究科総合人間学部図書館内  
→ 図書館カウンター
- 学術情報メディアセンター南館内  
→ 学術情報メディアセンター南館1F 事務室
- 生協吉田ショップ、吉田食堂、共北ショップ  
→ 生協吉田ショップカウンター、吉田食堂、共北ショップ
- その他の吉田南構内  
→ 施設掛(吉田南1号館1階)

なお、一定期間を過ぎると処分しますので早めに見に来てください。

**Q3** 証明書(成績・在学・通学など)、学割証はどこでもらえますか?

**A** 証明書自動発行機で発行しています。(詳しくは <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/campus/procedure/cert/publisher.htm/> 参照。)

**Q4** 授業の教室がわからないのですが・・・?

**A** 「全学共通科目履修の手引き」の時間割または、KULASISの「シラバス」を見てください。教室変更等がある場合もありますので、電子掲示板もしくはKULASISで教室変更を確認してください。KULASISの「シラバス」には、教室変更が反映されています。配置図は本ホームページの「施設の案内」および「全学共通科目履修の手引き」に掲載しています。

**Q5** 事前登録した科目やクラス指定科目も履修登録するのですか?

**A** はい、履修登録しなければなりません。集中講義以外は、全て履修登録が必要です。ただし、集中講義のうちポケット・ゼミ及びC群科目については、履修登録が必要です。

新入生への案内

新入生への案内事項をまとめています。

INFORMATION

全学共通教育に関する最新のお知らせを掲載しています。

在学生向けメニュー

学生生活に特に役立つメニューをまとめています。

ポケット・ゼミの紹介

1回生の時に履修することができるポケットゼミの情報を掲載しています。

必見!!

窓口Q&A

全学共通科目学生窓口でよく質問のある事項をまとめてあります。学生生活で困った時にはまずここをチェック!! (p.3を参照)



KULASIS

授業に関する様々な情報が掲載され、履修登録等を行うことができるHPです。

窓口職員  
より一言

全学共通科目学生窓口には、毎日たくさんの学生さんが出入りして、たくさんの質問が職員に投げかけられます。窓口での代表的な質問について掲載している機構HPの「窓口Q & A」から、一部を抜粋しました。「窓口Q & A」にはお役立ち情報が満載!! ぜひ活用してください。

全学共通教育科目にはB群科目と分類される自然科学系科目があり、卒業のために理系の学生はもちろん、文系の学生諸君も履修することを求められます。全学共通教育科目のB群科目は、教養としての自然科学科目で、言わば、知恵の引き出しにしまっておいてほしい自然科学的な知識です。しかし、物知り顔をするための、知恵の引き出しではありません。

私が京大・理学部に入学したのは40年も前のことです。入学後半年もすると、友人もでき下宿で夜遅くまで話し込んだものです。もちろん理学部のクラスの友人関係ですから自然科学に関する話題が多かったのですが、ある友人の物言いの多彩さに、強い印象を受け感心しました。彼は大阪の有名高校を卒業して理学部に入ってきた秀才でした。ある日彼の下宿を訪れ本棚を見て再度感心し、彼の物言いの奥深さに納得をしました。自分は四国の地方都市にある公立高校を卒業し、理系進学コース・理系受験一辺倒な学生でした。そんな自分にとっ



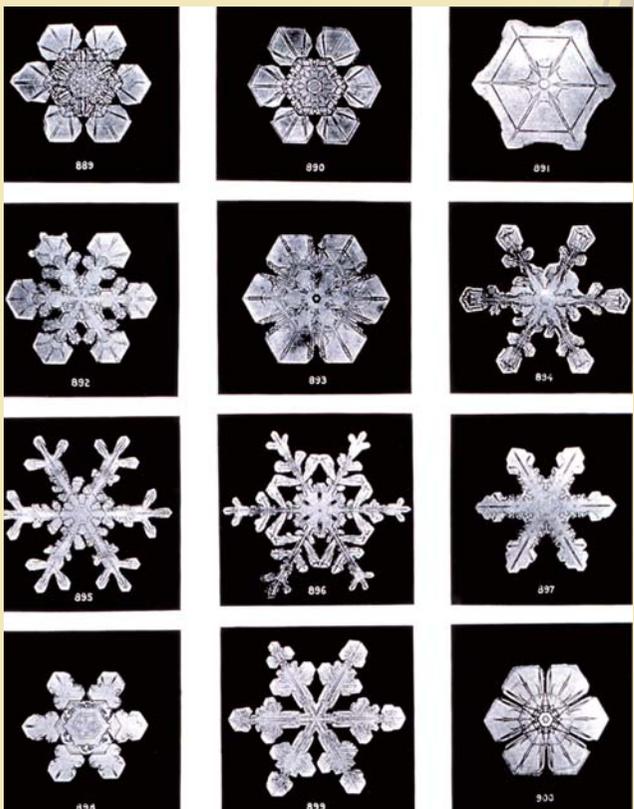
て見たことも聞いたこともない書籍が、彼の本棚にはズラリと並んでいたのです。自然科学はもちろん、沢山の文学・哲学・社会科学に関する書籍まで。知恵の引き出しとはこういうものだと思つたものです。

エドガー・アラン・ポー (Edgar Allan Poe) という有名なアメリカ・ボストン生まれの詩人がいます。アメリカが生んだ最初の文学者とも言われ、その作品はフランス語に訳されてヨーロッパ文壇にも大きな影響を与えたそうです。彼の作品の中に「韻文(詩歌)の理論的説明 (The Rationale of Verse)」というエッセイがあります。詩歌における韻律を理論的に説明しようとする、極めて文学的なエッセイです。その中に韻律の同一性 (equality) を説明する文章があり、結晶 (crystal) の美しさに感動する一節が挿入されています。

「Let us examine a crystal. We are at once interested by the equality between the sides and between the angles of one of its faces; the equality of the sides pleases us, that of the angles doubles the pleasure. On bringing to view a second face in all respects similar to the first, this pleasure seems to be squared; on bringing to view a third it appears to be cubed, and so on. ...」

雪の結晶や岩塩などに見られる、結晶の美しさを讀えた、自然科学的な記述が、韻律の同一性 (equality) の説明文に挿入されているのです。極めて文学的なエッセイの中にあつて異質な記述ですが、韻律の同一性 (equality) の説明を深めています。また、結晶 (crystal) の美しさを表す自然科学的記述としても秀逸です。彼の知恵の引き出しには、結晶 (crystal) という自然科学的な知識がしまつてあつたのです。

作家である立花隆氏は、文学部哲学科出身の文系人間ですが、自然科学の現在を論評し、また、未来を予言する数多くの素晴らしい著書を著しています。「人間の現在」という講義録の中で、科学とは人類の知識を本質的に増やせるアブダクション (abduction) という思考法に根ざしている、と述べています。機会があれば皆さんにも、是非、読んでほしい講義録です。彼の知恵の引き出しには自然科学的な知識がギッシリと詰まっています。学生諸君、知恵の引き出しにキラキラとした自然科学的知識の結晶 (crystal) をしまっておきたいはありませんか。



# 知恵の引き出しの B群科目



■プロフィール  
加藤立久 (かとう たつひさ)  
高等教育研究開発推進機構教授  
1953年 四国・愛媛県産  
京大理学部を出て、愛知県、埼玉県を回って一昨年に京大に戻ってきました。  
分子が示す磁石の性質測定を専門にしています。

# 京大での

京都大学の教育に関する基本理念は「対話を根幹とした自学自習」です。知っていましたか？知らなかった人はこの機会に頭に叩き込んで下さい。さて、この基本理念は、具体的にどのようなことなのか、少し考えてみましょう。

まず、みなさんが取り組んできた受験勉強とはどういうものなのか、少し省みて下さい。受験勉強というのは「合格」という目的があらかじめ設定されており、目的に沿った勉強方法があります。言うなれば、レールが敷かれている状態で、そのレール上でいかに速く走るかという競争をしているわけです。もちろん、速く走ることができるといことは、基礎体力があるということですから、今後いろいろなことに取り組む上で、それなりに重要なことです。「いや、受験勉強にも創意工夫は必要だ」という人もいますが、それは間違っていないかもしれませんが、所詮ゴールが決まっている中で創意工夫に過ぎず、終着駅

の敷詞を出題します。「ズルイ」ですか？あるいは「やられた！」と思いませんか？しかし、講義中に「スペイン語の敷詞」というテーマは扱われているのですから、具体例では四桁までしか扱わなくても、自分で五桁以上を調べてみればいいわけです。調べてみて確信が持てなかったり、不明な点があったりすれば、教員に質問すればいいでしょう。そこで「対話」がうまく、それに基づく「自学自習」が展開されることとなります。「大学だからそんなこと当たり前だ」と思ったあなたは、こうした行動がとれそうですか？大学の授業とは一里塚のようなものであり、一里塚をたどっていくには一定の目標が達成されるよう計画されていますが、一里塚と一里塚の間はみなさんが自分の足で歩かなくてはなりません。塚と塚の間に道は無数にあり、正しい道が決まっているわけではありません。塚と塚の間で迷ったり、どんだん先の塚を提示されて、ついていけなくなったりすることもあるでしょう。迷った時、遅れた時に、近くを歩く仲間質問したり、地図とコンパスで位置を確認したり、ベテランガイドでもある教員に助力を仰ぐ必要もでてくるでしょう。主体的に道

は同じだがレールが分岐してコースが複数あるといった程度のもので。皆さんが京都大学の入学試験に合格したということは、こうした競争では優秀であったということの証です。まずは、めでたいわけですが、いつまでもそれを喜んでいくわけにはいきません。これからますます新しい勉強体験が待っています。

さて、京都大学ではどういう勉強をするのでしょうか。これは受験勉強とはまったく違います。そもそも「合格」といったわかりやすい目的が設定されてはいません。京都大学全体および各学部の理念や目標は明確に掲げられています。皆さんにとってはおそらく大変抽象的なものでしょう。また、各講義のシラバスにも目標は掲げてありますが、必ずしもみなさんがやりたいこととは限らないで

を探し、それを自らの足で歩いてみることを要求されます。

引き続きスペイン語を引き合いに出しますが、中には「いや、そもそもスペイン語に興味はない」という人もいます。そういふ人のために、スペイン語以外の言語も準備されています。しかし、初修外国語を学ばないという選択肢はありません。それは京都大学が目指す教育には欠かせないものと位置づけられているからです。もう少し具体的に言えば、京都大学で学ぶ者は、多極的世界観を身につけることを要求されており、そのためには英語以外の言語を学ぶことが不可欠と考えられているからです。このことについて詳しく扱った本が昨年出版されています。『マルチ言語宣言 なぜ英語以外の外国語を学ぶのか』

(大木充・西山教行 編、京都大学学術出版会、2011)

しょう。それは当然なのです。ここでは、みなさん一人一人のためにあらかじめゴールが設定されているわけではありませぬ。京都大学と各学部の理念や目標、各講義の目標などを矯めつ眇めつして見ながら、自分自身の目標を自分自身で設定する場所なのです。

「なんだ、大学だからそんなこと当たり前じゃないか」と思ったあなたは正しい。問題は、それが具体的な行動に結びついていかないということなのです。講義というものとのらえ方を例に考えてみましょう。あるテーマを講義で扱うとします。わたしはスペイン語の教員なので、例えば「スペイン語の敷詞」としておきましょう。

講義では敷詞の仕組みをざっと説明し、具体例をいくつか、まあ四桁あたりまで扱います。さて、テストでは具体例として扱わなかった五桁や六桁

年)がそれです。京都大学の教員を中心にした執筆陣が、さまざまな角度から、複数の言語を学ぶ意義について考察しています。ぜひ手にとってみて通してください。

なにやら説教じみた話で、すみません。年をとると気がつかないうちにそうなっているみたいです。ともあれ、みなさんが、京都大学の学生としての自覚をもって、充実した学生生活を送ることを心から祈っています。



■プロフィール  
塚原信行 (つかはらのぶゆき)  
高等教育研究開発推進機構准教授  
1970年生  
専門分野: 社会言語学  
雑誌「ことばと社会」編集委員

# 学び

小中高校の授業で、あるテーマに関して、賛成と反対に別れて議論する「ディベート」を経験したことがある諸君もいると思います。また、「朝まで生テレビ」の様なテレビの討論番組をディベートだと思っている人もいるかもしれません。これらを通じて、ディベートに悪いイメージを持っている人も多いかもしれません。

しかし、これは本来のディベートとは「似て非なるもの」です。本来ディベートは、特定の論題に対して、賛成・反対両方の立場から準備して、直前のくじ引きによって、どちらの立場で議論するかを決めて行う、競技としての討論です。ディベートは、社会問題や政策課題を、賛成・反対両方の立場から議論を戦わせるいわば「知的格闘技」であり、様々な政策課題を学ぶことができるばかりでなく、自分なりの考え方を論理的に構築する方法を学ぶこともできます。

ここで最も大事なことは、自分の立場と関係なく双方の立場から議論を組み立てる必要があることです。大学で学ぶことは、高校までの勉強と異なり、簡単な答えがあらかじめ決まっているものではありません。だからこそ、複眼的に問題を考え、その

私は、かなり変わったキャリアをこなして積んで来ますが（東大法学部助手→McKinseyでコンサルタント→約二千万円の借金があった企業の再建→投資家）、これらはすべて、論理的な意思決定を仕事にしており、ディベートの考え方は大変役に立っています。

また、ディベートを学ぶことの重要性は、社会的にも大変注目されています。一昨年、このポケットゼミや私の担当する他の授業をダイジェスト化したものをニコニコ動画で放映しましたが、延べ約一万人が視聴しました。

# 「ディベート入門」 について

妥当性を賛否両方の立場から検証することが重要になります。

この授業は、競技としての討論であるディベートの学習を通じて、論理的思考力、プレゼンテーション能力、意思決定力を身につけることを目標とします。

アメリカ、イギリスを始めとする英語圏はもちろんのこと、近時は日本の学校教育、企業研修等でも広く、トレーニングとして行われています。

現代において、意思決定に関わる仕事をやる上では、必須のスキルと言えるでしょう。専門科目を学ぶ前に、「学び方を学ぶ」、教養課程に相応しい科目といえるでしょう。

前半は、ディベートの基本的な理論と技法について、論題の賛成論の組み立て方、反対論の組み立て方というマクロ的アプローチと個別の立証と反駁というミクロ的アプローチの双方から、ケースを用いながら、学習します。後半は特定の論題を与えて、チームに分かれて、リサーチや実際のスピーチの構成などを、模擬試合をもとにトレーニングします。

また、このニコニコ動画での授業を再編集した書籍は、発売二ヶ月で十八万部となり、テレビや雑誌でも多く取り上げられました。主要書店や京大、東大の生協書籍部でも売上第一位になりました。

とはいえ、書籍を読んで、やり方を学ぶことと、実際にそれを出来るようになることの間には大きな距離がありますので、この授業では、実際にディベートをやってみることで、一生、役立つスキルを身につけていただければと思います。負担は決して軽くありませんが、それだけの投資対効果があると思います。



■プロフィール

瀧本 哲史 (たきもと てつふみ)  
東京大学大学院法学政治学研究所  
科助手、マッキンゼー、京都大学  
寄付研究部門准教授を経て、現在、  
客員准教授。エンジェル投資家

# 吉田南構内マップ

— 充実した学びと憩いの場 —

吉田南構内は、全学共通科目を学ぶみなさんの拠点。その学びがより充実したものとなるよう、自習スペースやリフレッシュコーナーの設置など、授業以外にも様々な設備や環境が整備されています。

## 01 | プロムナード (※歩行者専用ゾーン)

正門を入ったところに広がる大きな空間がプロムナードです。授業の前後は、移動する人で混雑しますが、季候の良い時期は、ベンチでお弁当を食べたり、しゃべったりと、ゆったりできる空間です。



## 02 | 共北ショップ・polte(ポルト) (吉田南総合館北棟 地下1階)

"朝から3限目までの食のニーズを満たす"をコンセプトにした生協ショップです。店内にはイートインスペースもあり、給湯や電子レンジも利用できます。生協ショップは、他に吉田ショップがあります。

■ 営業時間 平日 8:00～15:00 / 土曜 11:00～14:00 / 日祝休



## 03 | 自由の鐘 (吉田南総合館北棟)

お昼12時を告げる鐘。本部構内・時計台の鐘とは別に、吉田南構内にも鐘があります。旧制三高時代に授業の開始・終了を告げるために使われていたものが、北棟の完成により甦りました。



## 05 吉田南1号館 リフレッシュコーナー

(吉田南1号館・地階・2階・3階北側)

1号館には、各階北側にリフレッシュコーナーが設けられており、それぞれの景色を楽しめます。たとえば3階からは、時計台など本部構内をくつろいで眺めることができます。



## 06 Bell Lounge・フリースペース

(吉田南総合館北棟・1階西側/2階東側)

総合館北棟には、1階西側にBell Lounge、2階東側にフリースペースがあり、歓談や休憩に利用されています。



## 07 CALL Learning Space (吉田南総合館北棟 東側2階)

コンピュータを使って、個々のペースで外国語の自習ができます。ティーチング・アシスタントが常駐していますので、使い方が分からない場合など気軽に相談してください。

- 利用者：本学学生なら誰でも利用可。
- 利用時間：平日9:00～18:00 土日祝休み



## 08 環on[わおん]—話せる図書館 (人間・環境学研究科棟 1階)

吉田南構内には、人間・環境学研究科総合人間学部図書館があります。本館西側の人間・環境学研究科棟1階には「話せる図書館」『環on[わおん]』があり、個人やグループで学習や研究会に利用できます。館内には「多目的スペース」や「グループ学習室」「くつろぎスペース」「L型カウンター」の4つのエリアがあります。

- 利用者：本学に所属するものなら誰でも利用可。
- 利用時間：平日9:00～17:00 土日祝休み



環on  
わおん

## 04 Student Research Room (SRR) (吉田南総合館北棟 地下1階)

学生のみさんの学習をサポートするために設置された自習室です。利用には学生証があれば大丈夫です。授業の空き時間や昼休みなどにぜひ利用してみてください。

自習室内では、ティーチングアシスタント(TA)が常駐しています。学生相談や学習支援も行っています。また、インターネットの使用、辞書の貸出、雑誌の閲覧も可能です。



**目印はコレ!**  
共北ショップからつながる、北棟地下1階西側の案内板を見つけてみてください。

- 利用者：本学学生・大学院生・教職員
- 利用期間：授業期間中(土・日・祝日を除く)
- 利用時間：10:00～19:00
  - 定期試験期間前1週間～試験期間中は9:00～21:00に延長
- 席数：63席

※インターネットを使用する場合は、京都大学学術情報メディアセンターのアカウントを用いたPPTP接続サービスを利用する必要があります。



科学雑誌・文芸雑誌・映画雑誌などを中心に揃えています。



ティーチング・アシスタント(TA)には気軽に声を掛けてみてください。



ミーティングスペース(12席)もあります。



PCを持ち込んでのインターネット接続も利用できます。

# あなたは大学でできる 環境問題について 考えたことがありますか。

環境を保護しようとする行動は何も全ての快適な生活を犠牲にすることではありません。普段のちょっとした心がけだけでも、環境に対してやさしい生活を送ることはできるものです。ここでは、今日からできる身近な取り組みを紹介します。

## エアコン

### エアコンの温度を気にしたことはありますか。

体感温度は個人で差があるものですが、少しの我慢で譲り合える温度が夏28℃、冬20℃です。周りの人を思いやり、エアコンの温度設定をしましょう。

設定温度を夏25℃、冬23℃から夏28℃、冬20℃にすると1台当りこれだけの削減ができます。

電気量  
**1500** kWh/年

温室効果ガス  
**850** kg・CO<sub>2</sub>/年

(京都大学環境エネルギー管理情報サイト —はじめよう! 環境配慮行動— より)

1教室 約 **4台 × 76教室 (全共) × 850 kg・CO<sub>2</sub>/年 = 258,400 kg・CO<sub>2</sub>/年** の削減  
※実験室除く

その他に、全熱交換器(ロスナイ)はご存知ですか。

換気のために窓を開けると、冷暖房の熱も一緒ににげてしまいます。全熱交換器は、排気と新鮮外気が全熱(温度も湿度も)交換できる換気装置です。冷房時、暖房時は熱交換モードで運転しましょう。



左: エアコンスイッチ  
右: 全熱交換器スイッチ

今日から  
できること

**中間期のエアコン停止** (4月中旬から6月初旬、10月初旬から11月上旬)  
**夏28℃、冬20℃の温度設定**  
**エアコン運転時の全熱交換器(熱交換モード)の積極的利用**

## ゴミ・ ビラ紙

### 全学共通教育で、1年間に排出するゴミやビラ紙の量をご存知でしょうか。

皆さんのエコ意識の向上でゴミの排出量は減少傾向にありますが、引き続き3R (Reduce Reuse Recycle) を意識して行動しましょう。

H21年度 ゴミ排出量 **66.88** t ビラ紙等古紙排出量 **34.66** t

H22年度 ゴミ排出量 **55.13** t ビラ紙等古紙排出量 **21.13** t

高等教育研究開発機構ホームページのサークル掲示板はご存知ですか。

これは学生サークルのお知らせをホームページに掲載できるもので、多くの学生が閲覧していますので、教室内のビラ配布を止めて積極的にホームページを利用しましょう。

今日から  
できること

**3R (Reduce Reuse Recycle) 行動の実施**  
**サークル掲示板(高等教育研究開発推進機構ホームページ)の積極的利用**

## 洋式トイレ

### 便座ヒーター付きの便座カバーを開けっぱなしにしていますか。

擬音装置(女子トイレ)を使用せずに水道水を使用していませんか。一つ一つの動作は、習慣がなければ気にならないものですが、エネルギーの浪費には変わりありません。必ず便座カバーを閉め、擬音装置の使用を心掛けましょう。



便座ヒーター付の便座カバーを閉めることで1台当りこれだけの削減ができます。

電気量  
**39** kWh/年

温室効果ガス  
**22** kg・CO<sub>2</sub>/年

(京都大学環境エネルギー管理情報サイト —はじめよう! 環境配慮行動— より)

134台 (全共) × 22 kg・CO<sub>2</sub>/年 = **2,948** kg・CO<sub>2</sub>/年 の削減

今日から  
できること

**便座ヒーター付きのカバーは、使用后必ず閉める。**  
**擬音装置(女子トイレ)の使用で水道水を節水。**



## 照明

### 誰も居ないのに照明が点いている教室や研究室はありませんか。

個々のエネルギー量は小さいですが、エネルギーの浪費には変わりありません。必ず消灯を心掛けましょう。

部屋の照明を1時間消灯すると、これだけの削減ができます。

電気量  
**250** kWh/年

温室効果ガス  
**140** kg・CO<sub>2</sub>/年

(京都大学環境エネルギー管理情報サイト —はじめよう! 環境配慮行動— より)

76教室 (全共) × 140 kg・CO<sub>2</sub>/年 = **10,640** kg・CO<sub>2</sub>/年 の削減

照明スイッチが細かく分かれていることをご存知でしたか。これは人数に合わせた照明を行うもので、授業だけでなく、教室等で自習する時も全灯を避けて部分点灯を行いましょう。



照明スイッチ(ゾーン分) 教室の部分点灯

今日から  
できること

**最後に部屋を出るときは必ず消灯。**  
**部分点灯の積極的活用**

# 学生川柳

桜咲く 人生の花も 咲かせよう

(法学部卒業生)

自転車が 撤去されたよ 3回目

(医学部卒業生)

NFで ふいに生まれる 恋もある

(医学部卒業生)

## 学生川柳募集!!

みなさんが日々思っていることを自由に川柳で表現して投稿してください。

- 学部、回生、氏名を本文とは別に明記してください。ただし、掲載時には学部、回生のみを掲載し、氏名は掲載しません。内容により掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

送り先：京都大学全学共通科目学生窓口  
e-mail：730tusin@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

『GE 共通教育通信 Vol.17』（京都大学高等教育研究開発推進機構広報）

発行：平成24年4月  
発行者：京都大学高等教育研究開発推進機構（共通教育推進課）  
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL.075-753-6510・6511  
FAX.075-753-6691  
<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>